

10 いちのみや親子木曾川源流探検隊

- 【日 時】 平成 26 年 8 月 2 日（土）
【場 所】 木祖村 こだまの森周辺及び味噌川ダム
【内 容】 以下のとおり

愛知県一宮市との上下流交流事業の一環として行われているイベントですが、今年是一般公募の一宮市親子 73 名及び一宮市関係者 4 名が木祖村を訪れました。

一行が始めの会場となるこだまの森へ到着後歓迎セレモニーが開催され、下流域を代表して「いちのみやリバーサイドフェスティバル」運営協議会の岩田副会長よりご挨拶を頂きました。上流域からは開催地である木祖村長の栗屋徳也氏をはじめ木祖村・木曾広域連合等関係者 6 名が出迎え、栗屋村長、古畑議長、古幡副管理者が歓迎のあいさつを行いました。

セレモニー終了後、キャンプ場の釣り堀へ移動して、イワナのつかみ取りが行われました。はじめは水の冷たさに驚いていましたがすぐに慣れ、びしょぬれになりながら一人で 20 匹以上も捕まえた子もいました。捕まえたイワナは、この後同会場で行われたバーベキューの際に、塩焼きでいただきました。

昼食後、こだまの森に隣接する農園でブルーベリー狩りの体験を行いました。濃紺で大きく実ったブルーベリーをパックいっぱいに取り取っていました。

その後 2 班に分かれ、それぞれ木曾川源流ふれあい館（味噌川ダム資料館）の見学とダム巡視艇の乗船体験を行いました。ふれあい館では水の役割や大切さ、ダム建設工事の様子等をスライドやビデオで学習しました。巡視艇の乗船体験はこのツアーの中でも毎年特に人気があり、時速 50km ともいわれる速度と、普段は見る事が出来ないダムの中からの景色を楽しんでいただきました。

最後に道の駅「木曾川源流の里きそむら」でお土産等買い物をしていただき、一宮市への帰路に着きました。

毎年人気のイベントのため、募集定員を上回る応募があるとのことですが、木曾の豊かな自然を体感し、水源地の役割を理解していただく良い機会でもあり、より多くの下流域の方に参加いただけることが重要と思われまます。

平成 26 年度「地域発 元気づくり支援金」 水と街道で結ぶ地域間交流事業
☆ 当日の様子



当日の参加者



開会セレモニー



イワナのつかみどり



バーベキュー



ブルーベリー狩り



ふれあい館



ダム巡視艇乗船体験